

秋田県書道連盟会報

第 122 号 連 盟
 秋 田 県 書 道 連 盟
 事務局
 秋 田 市 泉 野 一 丁 目 18-1
 三 浦 湯 舟 彦
 三 浦 湯 舟 彦 部
 長 沼 雅 彦
 編 集 広 報 部
 (題 字 : 長 沼 雅 彦)
<http://www2.tbb.t-com.ne.jp/aki-shodorenmei/>

新春書初め展覧会 審査の観点について

秋田県書道連盟理事長 長 沼 雅 彦



いまや連盟の新年をかざる主要行事として定着した秋田県新春書初め席書大会。今年度は武道館の改修工事のため、作品を公募するいわゆる公募展のかたちで行うことになった。すでに報道されているとおり、八百八十点余の作品が集り展覧会場となったさがけホールの壁面上から下までいっぱいにする盛況であった。みごとに貼りめぐらされた作品群は、一点ごとに書き手の人柄、性格、生活の姿勢などがしのばれて、巧拙をこえた見ごたえがあった。

小さい手に筆を持って、一生懸命に筆を運んだであろう幼児のひらかなは、なんともかわい。大人のある作品は好きな言葉をいかにも楽しげに肩の力をぬいて書いてあり、書を趣味として生活に取り入れている豊かな余裕を感じさせる。大学生の作品は、現在熱心に習っている古典を真摯に追求して伸び盛りの勢いが感じられて、たのもし。それぞれの作品は、このように書き手の姿を映し出して見飽きることはない。

しかし、そうはいつでも審査のある公募展であるから、提出された作品に優劣をつけて示さなければならぬ。この度の展覧会でも特賞、推薦を初めとして各賞を決めた。そこで、難しいことではあるが、その審査の観点をこの紙面をかりて文章である程度示しておいたほうが良いと考えた。審査は単なる見た印象ではなく、感覚的なものでもない。一定の根拠に基づいてその上で判断されるものだと思うからである。

◆ ◆ ◆

まず、小中学校の書写作品について。書写は学校教育では国語科に位置づけられている。その目標は学年の進行によって変わってくるが、文字を正しく、整えて、スムーズに書く(指導要領では書く速さを意識して書くこと、と表現されている)。そして紙面全体を意識して適切に文字を配置する。おおよそ、そのようになっている。

そのためには、まずそれぞれの点画の形、例えば、右払い、はね、折れ、点などを用筆正しく書き分ける必要がある。そしてその点画を整えて布置(構成)しなければならぬ。点画の位置、間隔、角度、比例などに注意して基準を参考にして字形を整えるのである。その際、教科書の基準や指導者の書いてくれた手本(基準)をただ真似るのではなく、点画の用筆、構成の要素を自覚しつつその意味を納得して練習していくべきである。当然指導者の時宜に応じた適切なアドバイスが必要である。

書写の作品にはこのような過程をふんで書かれたとみえる確かな骨格があつてほしい。それと同時に書き

手の内面的なものが自ずと表れ、伸びやかに、素直に、生きいきと、筆端にこころがゆきとどいたものであれば素晴らしい。
 この度の展覧会でも上位に選ばれた作品はこのように評価されるべく、みごとに仕上がりをみせていた。

◆ ◆ ◆

高校以上の書道の作品について。高等学校からは芸術科の中に書道が位置づけられてあり、三千余の歴史を誇る書の深く広大な世界がその前に広がっている。そこにある先人の遺した数々の名品は時間と空間をこえて存在し、我々に書とは何かを教えてくれるのである。それを古典という。我々はそれを鑑賞し臨書しながら書学を学んでいく。そこから表現技術を得、書の本質を学ぶのである。

書は芸術であるからどのような表現をするのも書き手の自由である。これは当然のいいようである。しかし書いたものが書とよばれるものであるかぎり、必ず古典によって我々に伝わった書の本質がそのなかに核として存在しなければならぬ。

審査する場合は当然そこが肝要である。そして書写の場合と同様に書き手の内面性がいかにその作品をその人たらしめているか。ここが審査の観点だと思う。

◆ ◆ ◆

審査の観点という複雑で、抽象的な事を限られた紙面で表わすことは私の手に残ることであった。読みにくい文章になったが、本意をくんでいただければ幸いである。

なお書道は高等学校の教科名でもあり、人口に膾炙しているが、私は書と呼んでいるので、書と書いた。ここでは同じように考えていただいていいが、その微妙な差異を書く紙幅はない。つぎの機会にゆずりたい。



第11回秋田県新春書初め大会作品展示会場に於いて

第11回 秋田県新春書初め大会

本大会は例年、秋田市の県立武道館を席書会場として開催していましたが、改修工事で使用できないため、今年は作品を事前に募集し、1月19日(日)に秋田市の「さきがけホール」にて、過去最多の応募作品884点の審査が行われました。

また、1月30日(木)から4日間、同会場で作品展が開催され、幼児から一般までの応募作品と連盟会員が揮毫した俳句や短歌が展示されました。2月2日(日)には授賞式が行われ、児童生徒や保護者その他関係者約100人が出席し、佐川博之会長(秋田魁新報社社長)、長沼雅彦大会委員長から、受賞者に賞状と記念品が手渡されました。

書初め審査



長沼大会委員長あいさつ



2月2日授賞式：長沼大会委員長から受賞者へ賞状伝達



審査後の展示準備作業



主 催

秋田魁新報社
秋田県書道連盟
秋田県総合公社

書初め大会作品展会場



秋田県書道連盟活性化委員会活動から



第11回
秋田県新春書初め大会
「書道体験コーナー」
令和2年2月2日



秋田県書道連盟 第4回新春小品書展

令和2年1月30日～2月2日
さきがけホール

第4回新春小品書展がさきがけホールで行われ、本連盟会員79人の作品が展示されました。会場は、字句や表現方法、紙や額に工夫を凝らした漢字・かな・篆刻・前衛・調和体などの作品が並び、令和初の新年にふさわしい華やかな雰囲気満ちていました。



おめでとうございます

第82回秋田書道展

県内最大級の書道展であり、第82回展では学生と一般の部で入賞470点、入選203点となりました。本連盟会員の魁星賞、推薦、特選の受賞者を紹介します。(魁星賞・推薦の作品写真は秋田魁新報社提供)

◆魁星賞

藤原豊道(由利本荘市)



この度第八十二回秋田書道展において栄誉ある魁星賞をいただき感謝しております。又、過分の好評に感謝しております。

何事でも一歩一歩進むべきものである。不器用な私でも一ヶ月習えば一ヶ月の進歩があると思つて学習している。一ヶ月習つて一ヶ月の効果を挙げようと思つて、無謀と知らずやったこともある。しかし一度に十歩、五十歩を飛ばうとするようなもので大成することは決してない。「真の進歩は一歩一歩にある」と思ひに到つた時、自分を変えざるを得なかった。今は自然体で「自己の書」を求めて勉強したいと思つております。

◆推薦(大字書)

竹内美穂(由利本荘市)



その日の朝もいつものバタバタと時間に追われ新聞を開くことを忘れていました。多くの方々から頂いたお祝いの言葉で我が身に降りかかった事の重大さを知った次第でした。



生の長年の指導とどれほど多くの先輩、書友、そして家族の応援があったことが、改めて感謝するばかりです。ありがとうございます。これからさらに技術と心に磨きをかけて、ゆつくりではありますが書の道を歩んでいきたいと思ひます。

◆推薦(自運漢字)

佐藤 穎(潟上市)



本年度第八十二回秋田書道展出品作品が推薦の栄誉を戴き唯々驚き、授賞式に参列し、感動を新たに致しました。四十年以上、温かくそして厳しく御指導を戴いた長沼雅彦先生に心から感謝を致しお礼を申し上げます。小さい子供達を連れてのお稽古に先生、書友も温かく励まして下さったことを懐かしく想い出しております。細々と長い年月続けられていることに書友にそして家族に感謝したいと思ひます。学びたい古典が山積みです。自分らしく、楽しく筆を持ち続けられるよう、夢を追い続けられるよう、これからも精一杯努力を重ねてまいりたいと思ひます。書道連盟の先輩の皆様の御指導を頂



◆特選(自運漢字)

竹村和佳(男鹿市)



この度、秋田書道展自運漢字部で特選を受賞することが出来、大変嬉しく思ひます。又、温かい励まし

お言葉をたくさん頂き感謝申し上げます。書道でどのように表現するのか、さらなる努力を続けて参りたいと思ひます。今後共、よろしくご指導の程、お願い致します。

◆特選(自運漢字)

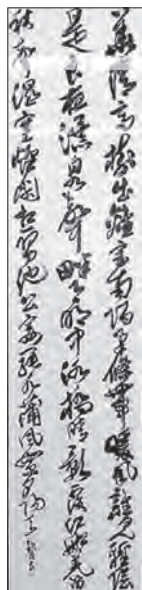
三浦健幸(秋田市)



他にもすばらしい作品が多くある中、選んで頂き、恐縮しております。自分の書いたものは、しばらくすると、必ず後悔します。その時には、見えていなかったことに、あとになって気づきます。今、まだ、見えていないことに気づけるように、努力していきたいと思ひます。

◆特選(自運漢字)

佐々木 欽月(由利本荘市)

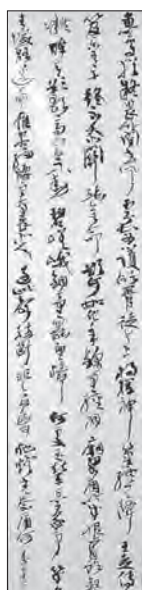


この度、秋田書道展一科漢字部門で特選をいただき、誠にありがとうございます。ひと重に秋田師山先生、小松璐秋先生のご指導の賜物と感謝申し上げます。

行草体で始めた作品は、次から次と問題点が見つかり助言をいただきながら書き直しを重ねました。今回の賞はまだ筆を持てる励しと受けとめ精進を重ねたいと思ひます。

◆特選(自運漢字)

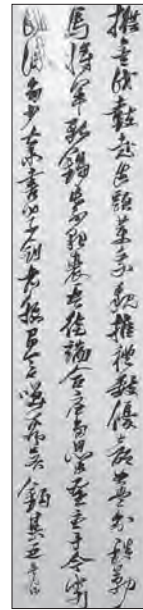
千田寿山(井川町)



受賞の喜びを書いて下さいということですが、前

回受賞した推薦と比べたら三分の一でしょう。前回
は招待作家や無鑑査などの知人や友人から、お祝いの
メッセージをたくさん頂きましたが、今回はほとんど
ありませんでした。それだけ期待されていたのかも知
れませんが、マイペースで目標に向かって頑張りたい
と思います。

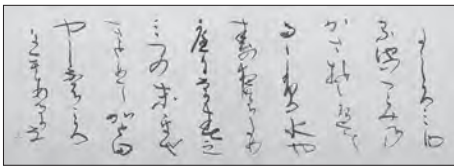
◆特選 (臨書漢字) 小玉豊光 (五城目町)



「あきらめないでよかった、続けてきてよかった」と
と素直に本当にこの度の受賞は特別にうれしく思っ
ております。今回は何通りの作品を手がけて、書いても
納得できず、ただひたすら筆を持ち続けました。最後
に決定した作品です。ありがとうございました。最後
は気負うことなく、自分らしく挑戦し続けたいと思っ
ております。

◆特選 (自運かな) 鈴木昭子 (横手市)

第八十二回秋田書道展に於いて特選
を賜り誠に有難うございました。
この作品は二首書きました。時間の
許す限りこつこつと古典を学び作品の
制作に努力したいと思えます。
今後共よろしく御指導お願い致しま
す。



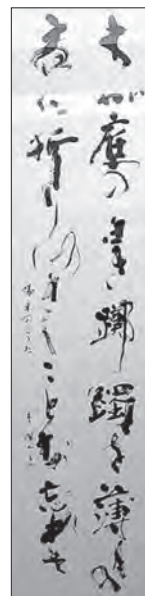
◆特選 (大字書) 堀井直子 (由利本荘市)



この度は秋田書道
展におきまして、受
賞させて頂き驚きと
嬉しさでいっぱい

す。いつも熱心に御指導くださる先生方、清芽会の書
友の皆様感謝し、今後も楽しく書を学び精進してい
きたいと思っております。本当に有難うございまし
た。

◆特選 (調和体) 佐々木青爛 (秋田市)



このたびは会員皆さまのおかげで入賞させていただ
き誠にありがとうございました。
今回の作品制作に当たっては、昨夏の互評会におい
て作品解説時に、長沼先生より出席者への貴重なアド
バイスがありました。(内容はヒミツ。)このことに
加え、上から下への流れに気をつけて仕上げました。

◆特選 (調和体) 会津千寿子 (由利本荘市)

厳しい審査に挑戦し続けて参りましたが、毎年新聞発表の日は緊張しながら早
朝の配達を待ちました。この度は、毎朝
仰ぎ見る「鳥海山」への想いを、自分の
言葉で表現した作品が公募展最後の受賞
となり、安堵感でいっぱいです。
亡き竹清師匠や諸先生に育てていただ
き、清芽会の大勢の仲間と切磋琢磨でき
ますことに感謝です。



◆特選 (調和体) 岡本真貴子 (由利本荘市)

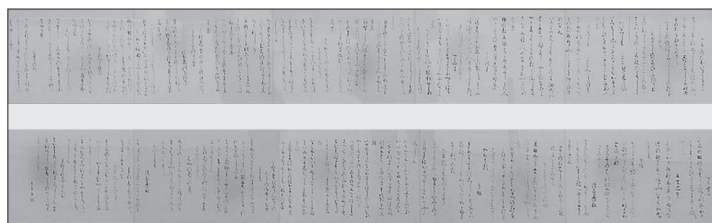
この度は秋田書道展において特選をいただきまして
ありがとうございます。県内最大の書道展であり、
入選入賞者が
秋田魁新聞に
掲載されるの
で地元の方々
からたくさん
のお祝の言葉
をいただき大



変われしく思います。またそのことが書作の励みにも
なります。調和体という表現を楽しみながら書作に精
進して参りたいと思えます。

◆特選 (臨書かな) 今野有希 (大仙市)

この度は、思いもかけず特選と
いう賞をいただき、ただただ驚い
ております。ご指導くださった根
北楸先生をはじめ、これまで支
え、導いてくださった方々に感謝
の気持ちでいっぱいです。己に負
けてなかなか練習に時間を割け
ず、未熟な点ばかりが目につきま
すが、今後も一步一步精進を重ね
ていきたいと思えます。



おめでとうございます

改組第6回日展入選



小松紫峯 (秋田市)
連続五回通算六回目の入選になり
ます。おめでとうございます。

実技研修会

今年度の実技研修会が協働大町ビル(秋田市)において行われました。また、終了後には同会場で懇親会が開かれ、会員同士が和やかに懇親を深めました。

日時 令和元年10月6日(日)

会場 協働大町ビル

内容 実技講習

漢字部門	黒木	天籟	先生
仮名部門	小松	紫峯	先生
書道史部門	竹村	天祐	先生



開講式：長沼理事長あいさつ



講師：黒木天籟先生



講師：小松紫峯先生



講師：竹村天祐先生



懇親会

実技研修会に参加して

石川 抱鶴 (秋田市)

竹村先生の発想力溢れる作品は魅力的であり、私の創作意欲をかき立ててくれる。

先生が研修会の講師と知ったとき、直ぐに申し込みをしたが、その内容は期待に違わないものだった。

研修を通して書道史の概略を知ることが出来、今後は古典の時代背景をより考えながら学習をしなければと思った。また、機器を駆使した講話は分かりやすく、ユーモア溢れる話術で参加者を惹き付けた。先生の授業を受けることのできる高校生を羨ましく思った。

豊富な知識がありながらも更にアンテナを張って常に新しい情報を得ていることが、魅力的な作品に繋がっていたのである。今後の書の可能性をも示唆する研修会であった。

新年研修会及び新年会

期 日 令和2年1月26日(日)

会 場 秋田キャツスルホテル

研修会 10時30分～11時45分

講 演 演題

『アナウンサーのこぼれ話と
暮らしの中のユーモア』
『笑いは健康長寿の常備薬』

講 師 秋田県書道連盟常任理事

上 野 泰 夫 氏

今年度の新年研修会及び新年会が秋田キャツスルホテル(秋田市)において行われました。本連盟常任理事の上野氏の巧みな話術に会場は終始大盛り上がりでした。研修会終了後には新年会が開かれ、美味しい食事をいただきました。楽しい一時を過ごしました。



講師：上野泰夫氏



新年会：長沼理事長
あいさつ



佐川会長あいさつ



新年会：三浦総務部長
乾杯のあいさつ



新年研修会に参加して

佐々木 青爛(秋田市)

新年一月末に市内のホテルで連盟恒例の研修会が開催された。講師は「アフターバス」こと、上野泰夫先生である。我々世代にとってはかつてのラジオ等でお馴染みであり、喜び勇んで参加させてもらった。

会場は笑いの連続であり、数年分の笑いをこの一時間余に凝縮させてもらった。手紙、年賀状、敬語のマナーにおいてもウイットに富み、勉強させられた。そして感じたことは、笑いは掛け合いや間が大事なんだなア、と改めて感じた。講師に近い席のNさんは、たびたび突っ込まれていましたが、それも技のうち。ご苦労さまでした。

今、新型コロナウイルスの感染拡大は、日々の暮らしはもとより、書道展や広告への影響が心配される。早期の事態収束がなされることを願うばかりである。

主な展覧会 (連盟会員所属団体)



長沢薫チャリティー書展
R1.10.4~10



第35回書壇院秋田連盟展
R元.8.30~9.2



第7回書遊会展
R1.11.14~17



秋田市書道会企画展(震災復興)
「東北のうたを書く」
R1.9.7~23



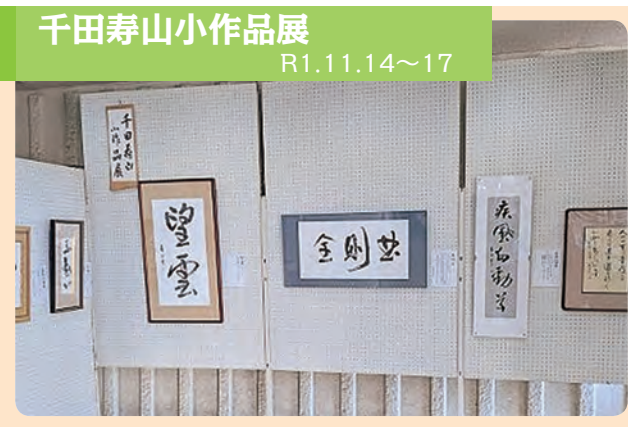
第15回書瀾の会書道展
R1.11.14~17



第8回秋田藍筍会展
R1.9.20~22



千田寿山小作品展
R1.11.14~17



第13回書人秋田会展
R1.10.4~6





これまでに開催された

第15回由利本荘美術展

R2.2.1~5



第37回窓友会書道展

R1.11.15~17



第19回五人の書展

R2.2.7~9



第18回秋田一先会かな書展

R1.12.21~23



第45回秀作美術展

R2.2.27~3.1



第42回瀾の会書展

R2.1.10~12



第58回秋田市書道会書展

R2.3.6~3.9



第15回毎日書道秋田新春展

R2.1.16~20



会員募集

日頃から本会の運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

本会は、より多くの書道を愛好する皆様に活躍と研修の場、作品発表の場、会員相互の情報交換の場などとしていただくため活動しております。

会員は随時募集しておりますので、事務局までお問い合わせ下さい。ホームページもごらん下さい。

事務局 秋田市泉菅野一丁目18-1 三浦 湯舟

ホームページ <http://www2.tbb.t-com.ne.jp/aki-shodorenmei/>

〔広報部〕

※連盟加入の会員の団体・個人で、展覧会開催日の掲載を希望される場合は、事務局にお知らせ下さい。

部 員	副 部 長	部 長
荒川 康一	角田 菽人	伊藤 雅子
伊藤 藤子	伊藤 清子	東海林 汎山
		阿部 清楓

総合書道用品販売

- ◎展覧会・企画・展示
- ◎〈表具〉〈額装〉〈軸装〉
- ◎各種展覧会搬入搬出承ります
- ◎文房四宝・低価格にて提供しております

株式会社 クラヤ

〒010-0952 秋田市山王新町4-5
 TEL 018-863-6001 FAX 018-863-6004
 ホームページアドレス <http://www1.ocn.ne.jp/~kuraya>
 メールアドレス kuraya@seagreen.ocn.ne.jp

美術表装一式

掛軸、和額、屏風、襖

中山表具店

〒011-0917 秋田市飯島道東二丁目4番10号
 TEL 018 (846) 8496

筆、墨、硯、紙から額縁まで全品3~4割引
貸額、軸装、古軸仕立て直し承ります

書道用品専門店

東方交易 秋田店

午前10時~午後6時(日曜日・祭日は午後5時迄)
(アトリオン休館日と年末年始は休業)

〒010-0001 秋田市中通二丁目3-8 アトリオン地下1階
TEL / FAX.018(837)2220

特設コーナー他お買い得商品が満載 ネットショッピング

東方交易 検索  楽天・Yahoo・amazon
はがき、電話、FAXでもどうぞ

那 墨痕あざやか 波

あなたの筆勢を伝える筆。
「書」の心をうつす墨、紙。

那波紙店

〒010-0921
 秋田市大町四丁目3-35
 ☎ 018-823-4311(代)

あなたの発想を



カタチに。



株式会社 塚田美術印刷

〒010-0921 秋田市大町一丁目6番6号

TEL 018(823)5551(代) FAX 018(823)5553

一般書道 総合誌
教育書道

書友

67年の歴史をもつ秋田県随一の月刊書道誌
書写指導に好評を得ております。

書友社

〒010-0954 秋田市山王沼田町11-11
 TEL 862-3484 FAX 862-3485